



人権だより



2013年度 第11号

発行所：大分県立日田林工高等学校

発行責任者：校長 生田 茂

ねんせい じんけんほーむるーむ じっし 1・2年生で人権HRを実施します。



3月17日（月）1限に1・2年生で本年度最後の人権HRが実施されます。内容は、2年生は2学期の「部落差別」の続き、1年生は「ステレオタイプ」（予定）です。2年生は2学期に「部落差別」について1時間実施しました。その内容については以前「人権だより」で紹介しましたが、差別の起こりについて学びました。今回は、その続きで差別を受けていた人たちの差別に対する反対運動について学びます。そのときに忘れてはならないのが、「水平社宣言」です。この宣言は、長い間、差別と迫害（苦しめ悩ますこと）によって苦しめられていた人々が、みずからの意志で、奪われた人間性をとりかえそうとしたものであり、全人類の解放をうたう日本初の人権宣言です。1922年3月3日の水平社創立大会において、読み上げられたものです。江戸時代も差別に対する反対運動はありましたが、これ以降差別を受けていた人々や差別に反対する多くの人たちが団結して、全国各地で差別に反対する運動が起こるようになりました。この運動は私たちの暮らしにも大きく影響しているのです。その例としてあげられるのが、「小中学校の教科書の無償配布」「奨学金制度」などです。ほかにもいろいろあります。どのようなものがあるのか、図書館などで学習してみませんか。図書館には「人権コーナー」があります。是非利用してください。



私たちは、生活の中で思い込みによって偏った見方をしてしまうことがないでしょうか。それが「ステレオタイプ」や「偏見」といったものです。それが、差別につながって行きがちな事を1年生は学びます。「Oの血液型の人にはOOだ。」や「OO大学を出た人は立派だ。」「男だから・・・」「女だから・・・」などです。このような考えをそのまま鵜呑みにして、決めつけてしまうことが問題になります。ステレオタイプには単純なイメージ（北海道は広々している）だけでなくマイナスイメージ（●●人はずる賢い）等を伴う場合もあります。そうした否定的な感情を伴ったものは偏見のひとつです。偏見は人種差別、性差別等の差別・人権侵害等の問題につながっていく恐れもあります。

1年生は身近な例から、自分自身はそのような決めつけはないのかを考え、周りの人ひとりひとりの持つ多様な「個性」を大切にしたい人間関係をつくるにはどのようにしたらよいのかを学びます。





わたし しゃかい じんけんか だい
 こんげつ てーま
 今月のテーマは「私たちの社会の人権課題」です。



私たちが暮らしている毎日を「人権」という視点（ものを見たり、考えたりする立場）から眺めると、様々な問題や課題が見えてきます。大分県では、人権問題の重要課題を8つに整理して、それぞれに対して取り組んでいます。それでは、その8つとは何でしょう。

○同和問題…日本国憲法では「全ての国民は平等で差別されない」ことを保証していますが、未だに出身地を理由に結婚や就職などで差別的な扱いを受ける事例が見られます。

○女性の人権問題…男女共同参画社会（男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的・経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会）の確立が叫ばれていますが、女性は未だに賃金や昇進等で男性と差をつけられたり、家事や育児の負担が男性よりも大きかったり、セクシャル・ハラスメントやDVなど女性の幸せを妨げる多くの課題が残されています。

○子どもの人権問題…子どもは未熟な存在としておもに保護や教育の対象として取り扱われてきたため、意見が尊重される・多様性が認められるといった人として当然の権利において制限を受けてきました。また、最近では、大人のストレスの発散や身勝手な行動で傷ついたり、命さえ落としてしまうこともあります。

○高齢者の人権問題…人は高齢になると身体の衰えや認知症などの病気を抱える人が増えてきます。そういった事情につけ込んで財産をだまし取ったり、虐待するような人権問題が起きています。

○障がいのある人の人権問題…障がいのために特別視されたり、無理矢理施設に入れられたりする場合があります。障がいのある人が地域で安心して暮らせるようにはなりません。

○外国人の人権問題…外国の方が日本で生活する場合に、習慣や文化の違いから様々な問題が起こっています。また、特別永住者である在日韓国・朝鮮人、日本に帰化した人に対する差別などが未だに残っています。

○医療をめぐる問題…ハンセン病やエイズや精神疾患に関して、病気への理解が不十分なために引き起こされる患者の差別的な扱いが問題になっています。

○様々な人権問題…社会の複雑化や高度化、情報化に伴い、プライバシーの侵害や犯罪被害者やその家族への二次的被害、インターネット上での誹謗（事実でないや根拠のない悪口）・中傷（人の名誉を傷付けること）やいじめ問題、性同一性障がいの人や同性愛者など性的少数者へのいやがらせなど、様々な問題が表面化し、人権問題は多様化しています。

（大分県発行 人権Q&Aより）

人間は、社会の中で生きて行く限り、自分以外の多くの人と関わりを持って生きていかなければなりません。一人ひとりが自分らしく生きることができ、かつ、他の人と共に幸せな生活を送るためには、お互いの個性や違いを理解し、認め合うことが大切です。人権キーワードは「気づく」「感じる」「重ねる」「行動する」です。